

日射制御型拍動自動灌水装置とポリマルチ栽培でヤマノイモの収量、品質向上

【背景・目的・成果】

ヤマノイモは気象条件、特に降雨量に影響されやすく収量・品質の年次変動が大きい。このため土壤水分を安定させ、秀品率の向上を目的として日射制御型拍動自動灌水装置を使って7月～9月に点滴灌水チューブで灌水を行い、ポリマルチと併用して土壤水分の変動を少なくすると収量並びに品質が向上します。



ポリマルチと灌水装置の併用で秀品芋の生産拡大

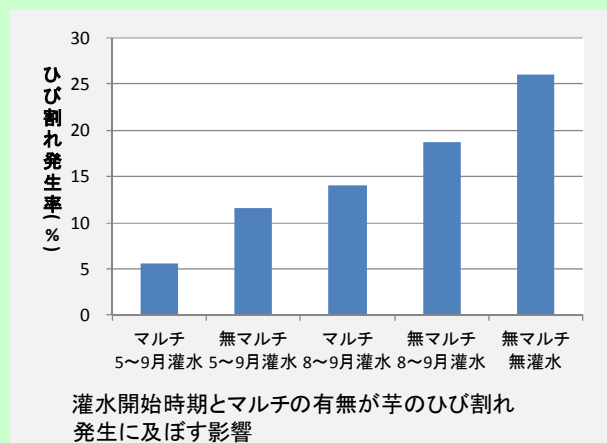
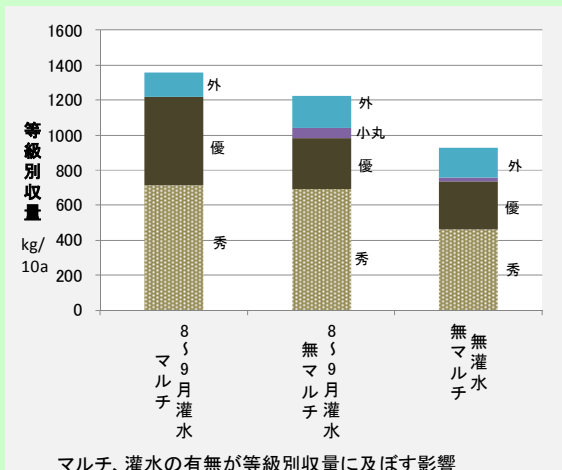
拍動灌水装置を使うと、日射により小型ポンプでタンクに揚水され、満水になると自動的に灌水される。ポリマルチと組み合わせて栽培すると、土壤水分が適湿状態で保たれ、優れた丹波ヤマノイモが収穫できる。



拍動灌水装置



秀品のヤマノイモ



マルチと拍動灌水を組合せると全収量、秀品収量が増加する。また灌水を5月から開始すると8月開始に比べ、収量性には影響しないが、芋表面のひび割れが少なくなる。

【技術の活用】

拍動灌水装置の導入経費は、10a当たり約30万円、装置の減価償却5年、塩ビ管、点滴チューブなどは3年償却とすれば年間約8万円の経費増となります。しかし、本装置の導入効果により年額10万円以上粗収入の増加が見込めます。